

# 東京ミニリーグ 競技実施要項

(一般・シニア用)

## 1. 競技規則

本大会は「2024 バasketボール競技規則 (Official Basketball Rules 2022)」に準ずる。ただし、一部は本大会の規定に従って実施する。

## 2. 競技時間

### (1) 予選リーグ及び予選トーナメント戦

- ① ゲームは各8分間の4クォーターからなる。フリースロー、タイムアウト、交代は時間を止めるが、それ以外は止めずに行う。ただし、第1・2・3クォーター残り1分はバイオレーションの時も時間を止める。第4クォーターは公式ルールに準じる。
- ② 第1クォーターと第2クォーター（前半）の間、第3クォーターと第4クォーター（後半）の間に2分間のインターバルを設ける。ただし、オーバータイムは実施せず、フリースローによるサドンデス方式で勝敗を決める。
- ③ ハーフタイムのインターバルは5分間とする。
- ④ タイムアウトは前半1回、後半1回とする。

1 Q	インターバル	2 Q	ハーフタイム	3 Q	インターバル	4 Q
8分	2分	8分	5分	8分	2分	8分

※リーグ戦を行う場合、順位はポイントによって決定する（勝ち2点、引き分け1点、負け0点）。順位を決めるときの決定優先順位は①ポイント、②得失点差とする。

※原則としてタイムスケジュールの時刻どおりに開始する。

※前の試合が遅れた場合は、ゲーム開始前に10分間のインターバルをおく。

### (2) 決勝戦及び3位決定戦

- ① ゲームは各10分間の4クォーターからなる。
- ② 第1クォーターと第2クォーター（前半）の間、第3クォーターと第4クォーター（後半）の間、及び各オーバータイムの間にそれぞれ2分間のインターバルを設ける。
- ③ ハーフタイムのインターバルは10分間とする。
- ④ 第4クォーターが終わったときに得点が同点だった場合、1回5分間のオーバータイムを決着がつくまで必要な回数行う。

1 Q	インターバル	2 Q	ハーフタイム	3 Q	インターバル	4 Q
10分	2分	10分	10分	10分	2分	10分

※原則としてタイムスケジュールの時刻どおりに開始する。

※前の試合が遅れた場合は、ゲーム開始前に10分間のインターバルをおく。

### (3) シニア競技

- ① ゲームは各8分間の2クォーターからなる。フリースロー、タイムアウト、交代は時間を止めるが、それ以外は止めずに行う。
- ② 第1クォーター（前半）の間、第4クォーター（後半）の扱いとする。
- ③ ハーフのインターバルは5分間とする。
- ④ タイムアウトは前半1回、後半1回とする。

1 Q	ハーフタイム	4 Q
8分	5分	8分

※原則としてタイムスケジュールの時刻どおりに開始する。

※前の試合が遅れた場合は、ゲーム開始前に10分間のインターバルをおく。

### 3. 使用球

大会使用球は、株式会社モルテン様よりご提供いただくモルテン製男子・B7G5000、女子・B6G5000とする。

シニア競技は株式会社モルテン製男子・B7G5000とする。

※ただし、シニア競技の参加比率で女性が多い場合は株式会社モルテン製女子・B 6G5000とする場合もある。

### 4. ユニフォームについて

- (1) ユニフォームは、2020年11月1日時点の公益財団法人日本バスケットボール協会のユニフォームによる。
- (2) ユニフォーム番号は、0、00及び1から99までとする。
- (3) 各チームは、ユニフォームを2セット必ず用意する。リバーシブルは可とする。
- (4) 原則として、組み合わせ番号が若いチームを淡色（白色）とするが、対戦する両チームの話し合いの上、変更してもよい。
- (5) ソックスの色は、シャツおよびパンツと異なる色であってもよいが、チームメンバーのソックスの主となる色が同じ色でなければならない。
- (6) コンプレッションウェアの着用はできるが、同じチームの全てのプレーヤーの腕や脚のコンプレッションウェアは同じ単色でなければならない。
- (7) テーピングの色については、指定しない。ただし、シャツと同じ色、黒、白、ベージュ等が望ましい。
- (8) ただし、第4条4-3-1「シャツの下にTシャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない。」と記載されているが、本大会においてはコンプレッションウェアであれば着用を認める。ただし、同じチームの全てのプレーヤーの腕や脚のコンプレッションウェアは同じ単色でなければならない。

### 5. ベンチ

組み合わせ番号の若いチームがテーブル・オフィシャルズに向かって右側とする。

## 6. オンザコートについて

- (1) 原則として、本大会は開催要項（※注3を参照）に記載のとおり、デフ選手は国際大会ルールに則り、補聴器具を外すことが義務付けされております。
- (2) 聴者の選手は、オンザコート2（聴者『聞こえる』の選手がコートに立てるのは2名まで）で対応する。  
※ただし、チームエントリーでの聴者（聞こえる）の登録できる数は自由とする。
- (3) 試合中にコート及びベンチからの声の指示等は認めない。  
ただし、タイムアウト時は限りではない
- (4) 怪我や退場等の理由により、コートに立てるデフの選手が2名になった場合でも聴者のオンザコート2を引き続き適用する。
- (5) 聴者の選手は、手首またはユニフォームにカラーテープを貼る。カラーテープは大会本部が用意する。

## 7. シニア競技特別ルールについて

女性がチームに入っている場合、女性選手の得点は+1点とする（3点→4点、2点→3点、1点→2点）。

## 8. アップ

- (1) 1日目のハーフアップはなしとする。
- (2) 2日目のハーフアップは、次の試合のチームがコートに入ってからアップを可とする。
- (3) アリーナのコート以外でのボールの使用は不可とする。

## 9. 表彰（予定）

- (1) チーム表彰は、優勝、準優勝、3位のチームに行う。
- (2) 個人表彰は、最優秀選手、得点王、3P王を行う。

## 10. その他

- (1) 開会式、閉会式、コートでアップする際は可能な限りチーム全員同じ服装とする。
- (2) 試合中は補聴機器の着用を認めない。全試合において、試合開始前アップから試合終了まで補聴機器を外しておくこと。
- (3) タトゥーがある場合は、テーピングやサポーター等で見えないようにすること。
- (4) 選手は競技中に相手を傷つける恐れのあるもの（指輪・ピアス・ヘアピン等）の着用を禁止とする。
- (5) 貴重品は各自の責任で管理するものとする。会場での盗難、紛失等の責任は大田区総合体育館及び主催者側では一切負わない。
- (6) 自然災害などにより大会を中止する場合がある。その際は参加費の返金をしない。また交通費、宿泊費等個人負担費用についても大田区総合体育館及び主催者側は補償しないものとする。
- (7) 大会期間中に撮影した写真や動画等を、当協会ホームページ、大会公式サイト等に使用することを事前に確認し、了承が得られた選手、チームのみ使用する。また、新聞・テレビ等に掲載することになった場合も同様とする。